

**2018**年度

---

2018.04→2019.03

---

環境保全に関する  
啓発活動報告書

小金井市環境市民会議

## もくじ

◆小金井市環境市民会議2018年度活動報告	1
1. 今年度活動の報告	
2. 部会活動とその他の活動	
◆各部会報告	
地下水測定部会	2
緑調査部会	4
環境学習部会	5
まちづくり部会	6
エネルギー部会	6
生活環境部会	7
はけの環境部会	10
◆各種審議会・協議会からの報告	
小金井市緑地対策審議会	11
ごみゼロ化推進会議	12
小金井市消費者団体連絡協議会	13
第26回玉川上水の保全事業・区市連絡協議会	14
◆協力活動の報告	
こがねい環境フォーラム2018	15
第16回名勝小金井桜落葉回収作戦	16
◆プロジェクト活動の報告	
武蔵小金井駅南口第二地区第一種市街地再開発事業地区への雨水浸透に 関する市長への提言プロジェクト報告について	17
◆資料（環境市民会議から提出した要望書・意見書）	
武蔵野公園ムジナ坂東側樹林地に設置予定の柵に関する要望書	19
新庁舎・新福祉会館に関する意見書	20
◆総会・定例会・運営会	22

## 小金井市環境市民会議2018年度活動報告

### 1. 今年度活動の報告

第二次環境基本計画に示されている「緑・水・生きもの・人…私たちが心豊かに暮らすまち小金井」を実現するために、環境市民会議の役割、市との協働や連携のあり方を探る1年とし、活動を進めてきた。

また、2017年度から引き続き活動テーマとした「知る・つなぐ・すすめるー小金井の環境守り人」として、活動を進めた。新しい団体会員が増え、部会も2つ新しく立ち上がったことから運営会にも新しい委員が増え、活性化の兆しが見えてきた。

環境政策課の提案で環境市民会議の活性化についてワーキンググループを立ち上げたが、なかなか運営会で協議する時間を作れなかった。会の運営の持ち方に課題があることから、報告はメーリングリストやペーパーの配布で行い、協議を中心に行うことにした。

- ・5月26日（土）クリーン野川作戦へ協力
- ・10月22日（月）定例会にて、環境市民会議活性化ワークショップを実施
- ・10月27日（土）なかよし市民まつり・消費者部門／雨水貯留タンクの相談窓口を設置
- ・11月8日（木）東京都建設局宛ての「武蔵野公園ムジナ坂東側樹林地に設置予定の柵に関する要望書」を持参・提出
- ・11月24日（土）落ち葉回収作戦へ参加
- ・12月1日（土）～2日（日）環境フォーラム／ポスター展示と講演会の企画に協力
- ・2月19日（水）「新庁舎・新福祉会館に関する意見」を市長に提出

## 2. 部会活動とその他の活動

各部会は、それぞれのテーマに沿って活動を進めている。また、部会の課題から都への要望書や市長への意見も提出をした。

環境市民会議の活動を知らせる方法の1つとして、新しいホームページを立ち上げるためにワーキンググループを作り、次年度の早いうちに公開をする予定になっている。発信力を高め、会員増加にまでつなげていきたい。

## 各部会報告

### ■地下水測定部会

農地の宅地化やはけを分断する都市計画道路、駅前の開発事業など、雨水の涵養地域の減少や地下水の流れへの影響が懸念されています。こうした現状から、国分寺崖線の4ヶ所(滄浪泉園・貫井神社・東経大新次郎池・T邸)で、湧水量について月に1度の測定を続けています。

井戸の水位の測定は、2006年から始めて2018年度まで毎月、28ヶ所(掘抜井戸10ヶ所・観測井戸18ヶ所)で行って来ました。地下水の状況と変化を把握し、地下水の保全に役立てることを目的に、当初の「10年は測り続ける」という目標の1つを達成したことから、現在は測定を終了しています。

測定を続けた10年間の井戸水位のデータを部会としてまとめている最中であり、ホームページに報告を載せる準備に入っています。



2019年1月6日貫井神社で

この冬は雨が極端に少なく、湧き水も減少。



2018年10月3日豊かに流れる貫井神社の湧水



鞍尾根橋から下流



弁天橋から上流



弁天橋から下流

2019年2月24日、鞍尾根橋から涸れた野川を眺める。この時期、この場所が涸れるのを見たことがない。

同日。弁天橋の下流側には貫井神社からの湧水が流れてきていた。

## ◆市内の井戸水位の調査についての報告

地下水測定部会は2006年10月から毎月1回、小金井市内の井戸の水位測定を始め、2018年2月まで11年5カ月に渉る観測を行い、2011年には中間報告を行ないました（くるりんぱ No.14）。井戸の数は最大33か所（終了時は28か所）まで広がりました。現在、主な湧水ポイントの湧水量の測定は続けておりますが、井戸水位測定については終了としました。

今般測定の終了にあたり、測定の結果を私たちに分析し報告するものです。

分析は28か所の井戸の毎月の井戸水位の変化を気象庁府中観測所アメダスデータと比較して行いました。

紙面の都合上グラフ等の分析用資料は掲載出来ませんので原始データと共に市民会議 HP に掲載します。

### 分析結果

◎府中アメダスの前4カ月総雨量と井戸水位がすべての井戸で相似している。

“くるりんぱ No.14”でも報告されているように地下水は前4カ月の総雨量に比例して増減するという事が言える。

◎小金井の帯水層は東に傾斜し、且つハケ際に傾斜した雨どい

小金井の帯水層は東に傾いて、且つハケ際に傾いた雨どいに例えられる。雨どいのへこんだ部分、即ち内陸部井戸の標準井戸水位は西端の井戸（貫井北町）で63m、東に進むにつれ水位が下がって最東端の井戸（東町）で約50mである。即ち地下の帯水層に含まれた雨水は小金井の西から東まで10m以上の落差で流れていることになる。小金井の地下水は三鷹に行ってしまうとの話は本当である。

◎雨どいの底はデコボコしている

雨どいには帯水層のデコボコがあり井戸によって降った雨を溜める能力に違いがある。内陸、即ち東に連なった一連の井戸の水位は最大13m以上の差があるが、水位の変化は非常に似ている。しかし同じ内陸井戸でも保水力が低い井戸が点在する。これは帯水層にデコボコがある為と考えられる。特に八重垣神社周辺は他の内陸井戸と比較すると1/2~1/3しか水位変化がない。地下水を保持する力が低い。帯水層の褶曲が起きていると考えられる。これは東京都土木研究所の川合さんも指摘している。

◎内陸井戸とハケ沿いの井戸の違い

内陸井戸に比較してハケ沿いの井戸は1/3程の保水力しかない。傾いた雨樋の端から溜まる間もなくハケ下に流れ出してしまうという事だろう。市は雨水浸透柵をハケ沿いには設置しないという方針だが、分析結果からも理解できる。

◎内陸井戸とハケ下の井戸の違い

ハケ下の井戸群も内陸井戸群と同様に各々保水力の差はあるが特異性は見られない。

◎野川周辺の井戸の特徴

常時地下水位は高い。

### 分析結果からの感想

◎月イチのスポット測定の限界がある。長期間測定したことは様々な点で意味があるが精度を上げた分析をするにはやはりデイリーのデータ採取がベスト。

◎長期間データを蓄積しデータの変化を検証、利用出来る体制作りは大切。いつか測定を復活させたい。

## ■緑調査部会

部会は下記の日程で行いました

- 第1回 2018・4・12 (木)
- 第2回 2018・4・27 (金)
- 第3回 2018・9・20 (木)
- 第4回 2018・10・16 (火)
- 第5回 2018・11・27 (火)
- 第6回 2019・1・25 (金)
- 第7回 2019・3・5 (火)

### 活動内容

- ・前年度からの課題であった、新しい地図を購入した。
- ・実際に行う調査だけでなく、地図上でも大きな変化が見られた。
- ・29年度でも報告したが、広い1戸建の敷地が細分化され3戸から4戸の家が建てられる。しかし、個人情報の問題もあり、表現方法がむずかしい。まだ、検討中です。
- ・2018・10・27 (土) 第52回消費生活展にポスター展示。(下記に展示写真・緑調査部会の活動の様子)
- ・調査の区分。新しい調査者が1人加わって下さった。
- ・緑被率の変化 平成10年度：29.5%、平成21年度：27.5%、少しでも緑被率を伸ばす提案をしていきたい。
- ・3/5の部会で来年度の計画を話し合った。市民に向けての活動を行う。
- ・来年度、4/23 (火) 緑調査、市報4月15日号に掲載することになった。
- ・30年度の活動計画に対して、実施できないこともあったが、引き続き地道に活動を行う。

### 小金井市の公園・緑地

小金井市環境市民会議・緑調査部会  
2019.02

●大規模な都営公園 市の南北に大きな公園があり、利用者も多く市の豊かな緑のイメージを作っています。



武蔵野公園  
野川を中心に自然環境が豊かな小金井のシンボルです。



野川公園  
かつての川床が現在でも大きな生き物の生息の場、自然観察場も残っています。



小金井公園  
春のツツジの時期は大変な人気で、週末は一年生保育があります。

●比較的大きな都市公園 市内に9ヶ所あり、スポーツ施設があったり、自然のまま残したりとそれぞれ特徴があります。



東山公園  
城址跡・運動場の他、緑遊園地センターがあります。



洛陽橋公園  
静かな緑あふれるのに市の文化館センターがあります。



横野公園  
小金井市初の複合公園で、大きな芝生広場が子供に人気です。

●緑地保存を目的とした緑地 緑地の自然環境をできるだけ残すことを目的とした緑地です。敷地所しかりませんが貴重な緑地です。



遠流泉園  
高級住宅地開発を阻止して残した緑地の貴重な緑地です。



はげの森緑地  
かつての森林地として自然環境の保存を目的とした緑地です。



美術の森緑地  
緑地帯一帯が緑地帯に指定されている緑地帯で、水も湧き出しています。

●住宅地内の小さな公園・緑地 200㎡程度の小さな公園・緑地は全く利用されていない、整備されていない、整備されているが問題の多い緑地が多数あります。



忘れられた公園  
住宅地の奥まった場所です。草むらや一日も利用されていません。



壁の付いた見向きもされない緑地  
場所が狭いにも関わらず、草むらや一日も利用されていません。



新しい住宅街の公園  
手前が新しく建てられた住宅の公園は比較的新しいです。

### 小金井市内全域公園・緑地調査

緑地調査では数年前から小金井市内全域の公園・緑地を調査しました。調査対象以外にも公園や大規模住宅が管理している公園もあり数だけは多いのですが、利用状況や整備にはかなりの問題を含んでいます。この調査を基に分析や提案を考えていきたいと思っています。



## 小金井市環境市民会議 緑調査部会

小金井市環境市民会議・緑調査部会は緑地や公園など市内全域の緑に関する基礎調査をおこなっています。また、市民参加で用水路跡地やハケの坂道の調査など自然環境を中心とした学習もおこなっています。

### 小金井市全域緑地調査

農耕地、果樹林、公園・緑地、生け垣、独立樹等緑の種類を住宅地図に落とし込み、詳細な緑の実態を調査しました。また、その実態を把握するため再度実地調査を進めています。



### 用水路跡地調査

玉川上水から枝分かれた小金井用水が、現在どのように残されているかその実態を調べ、用水路とその分岐の保存活用の資料を作成しました。



**ハケの坂道調査**  
市の大切な遺産である崖線(ハケ)を行き来する多くの坂道があります。市内すべての坂道を踏破し歴史文化的背景、現状を調査しました。

## ■ 環境学習部会

環境学習部会は、「田んぼの時間」の活動および市内の小学校4校で支援を行いました。「田んぼの時間」は新規の親子参加者に加え、約25名のスタッフ会員の協力によって田んぼの活動と日々の維持管理を行っています。本年度の参加者は生きものに関心のある児童が多く、水を介した生態系の豊かさが環境学習に好適な場であることを再確認した。

また本年度も、市内の学校田んぼの学習支援に取り入れやすい品種「森のくまさん」の栽培にも取り組み、種および苗の提供、次年度の種籾の確保にも取り組んだ。

### 田んぼの時間

第1回 4月21日(土) オリエンテーション・春の野草観察

植物観察指導：池竹則夫さん

参加者：大人：27名 子ども：16名 計：43名

第2回 5月11日(土) 代かき

参加者：大人：21名 子ども：11名 計：32名

第3回 5月19日(土) 田植え

参加者：大人：29名 子ども：16名 計：45名

第4回 6月17日(日) 水生生物観察会

水生生物観察指導：平井正風さん

参加者：大人：21名 子ども：11名 計：32名

第5回 7月7日(土) 昆虫観察会

昆虫観察指導：高橋利行さん

参加者：大人：12名 子ども：8名 計：20名

第6回 9月23日(土) 稲刈り(コシヒカリ)

参加者：大人：22名 子ども：10名 計：32名

第7回 9月30日(土) 稲刈り(森のくまさん)と脱穀

参加者：大人：26名 子ども：14名 計：40名

第8回 11月3日(祝) 収穫祭

参加者：大人：30名 子ども：16名 計：46名

第9回 12月17日(土) 正月飾り作り

参加者：大人：21名 子ども：8名 計：29名

参加者のべ人数：319名



昆虫観察会



稲刈り

### 市内小学校の学習支援

〈小金井市立第一小学校 5年生〉

種もみ(森のくまさん)の提供

5月8日(火)2校時(5-1,5-2)、4校時(5-3)、5校時(梅の実) --稲の種まき

6月5日(火)1校時(梅の実)、3校時(5-3) --田植え

6月7日(木)3校時(5-1)、4校時(5-2) --田植え

10月24日（水）2校時～4校時(5-2, 5-1, 5-3) --稲刈り  
 11月13日（火）1校時～3校時(5-2, 5-1, 5-3) --脱穀

〈小金井市立第四小学校 5年生〉  
 苗（森のくまさん）の育苗・提供  
 6月8日（金）3校時～4校時(5-1, 5-2, 5-3) --田植え  
 ※稲刈りはスタッフが揃わず中止

〈小金井市立本町小学校 5年生〉  
 苗（森のくまさん）の育苗・提供  
 6月15日（月）3校時～4校時(5-1, 5-2) --田植え



第一小学校の稲刈り

以上支援対象者のべ人数：約588名

## ■まちづくり部会

2018年10月～11月にかけて、小金井地域協議会（団体会員）と連携して小金井市内の公共施設28か所に設置してある「石けん」の種類と、市の「合成洗剤は持ち込まないで」のポスター及び「香り」の有無を17名の市民の協力を得て、調査を実施できました。

この調査は、まちづくり部会が市民会議の意見をまとめて市に提案した「小金井市環境行動指針」（平成19年3月に制定）の「極力合成洗剤を使わないように努める」が指針に沿って行動されているかどうかを調査するためです。

## ■エネルギー部会

### ◆地球温暖化講演会の開催

日時：2018年12月2日（日）  
 会場：宮地楽器ホール 第二・第三練習室

講師：江守正多（えもり・せいた）国立環境研究所地球環境研究センター副センター長

概要：小金井市が主催し、NPO法人こがねい環境ネットワークが運営する「こがねい環境フォーラム2018」において、地球温暖化と脱炭素という課題に私たちがどう向き合っていくべきかを考えるため、専門家を招いた講演会を「協力」という形で、実質的に企画・実施した。

成果：参加者は22人。（スタッフを含めると29人）。参加者の中には小学生連れの親子もあり、多様な世代が、地球温暖化問題の現状と取り組むべきことについて認識を深めることができた。

**利用者の皆さんへ**  
**合成洗剤は 持ち込まないでください**  
 ●市では「環境行動指針」で、「洗剤は強力石けんを使用するとともに、合成洗剤は必要以上に使わないように努める」としています。  
 合成洗剤の表示のあるものを持ってきた方は、お持ち帰りをお願いします。

**洗剤には「石けん」と「合成洗剤」があります**  
 表示で見分けてください  
 合成洗剤は、品名に必ず「合成洗剤」と書いてあります。  
 (例)

品名	含有成分
野尻・薬師・高登・調理用具用	野尻・薬師・高登・調理用具用
※界面活性剤 (20%)	アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム、アルキルアミンオキシド、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、安室化剤、結晶性シリカ

\*PRTR制度で、有害性のある化学物質を指定しています。  
 (第一種指定化学物質)

※容器に臭着を付けないために、石けんも使いすぎに注意し、容器での使用を心がけましょう!

小金井市

## ■生活環境部会

### ●動物との共生

#### <ペットとの共生>

\*行政、地方自治体の動物愛護などへの施策や公益社団法人 日本愛玩動物協会の愛玩動物飼養管理士資格(資料収集済)とその現状把握のための情報収集

#### 1)Web 調査

\*行政情報を第一弾として収集。その後、市民活動や小金井市内での情報の収集計画中(4月～)、(収集した情報は、順次生活環境部会公式サイト内に投稿にて公開中>投稿カテゴリーにて「動物との共生」をご覧ください。)

#### <野生動植物との共生>

自然環境保護、生物多様性の保全となる「野鳥、昆虫、野草など、地域における絶滅危惧種の保護」：具体策、地域別の市民活動との連携のための情報把握と連携の模索(H30 年度も継続実施)>東京都の基本方針など

\*行政、市内及び近郊各地域の市民団体の活動の現状 Web 調査結果の公開(平成 30 年春以降に部会サイト内公開)、各公園での野鳥調査の試験実施(4 月～12 月)：小金井公園及び野川公園での野鳥観察会参加>イベント別途報告

\*野鳥(鳩被害)などの市内での現状把握と対策検討>

### ●住環境における雨水利用

#### <A：雨水利用の現状調査>

○市内公共施設の雨水貯留施設について：

概要把握：市提供の施設概要を入手>利用度(管理、利用計画等)の把握をヒアリング調査(環境政策課に協力依頼予定)で行い、HP などでの課題、現状を伝える。公共施設調査報告は、1 月上旬完了

\*調査に合わせた施設利用促進策

1)調査先各雨水貯留設備のマニュアル収集と各施設への提供>2 設備(「雨二ティ-500」「RKP2BNS」)の 2 設備の入手済みマニュアルの提供

\*第一弾調査報告(平成 29 年度)公開後に各設備での調査結果報告は随時、投稿コーナーに報告開始：4 月段階で 3 ヶ所(貫井北センターを除く)の報告は部会公式サイト内投稿実施

2)各設備のメンテナンス管理状況の把握(市役所建設部営繕課、各施設管理担当部署へのヒアリング：環境政策課に協力いただいて順次実施)>○市内民間施設や個人宅での雨水貯留施設について：次年度中旬までに設計実施

3)市内の合流式下水道への雨水排水と道路浸透枿による地下浸透の現状把握(市道の設備は、下水道課へ、都道は、東京都の建設事務所に確認し、情報収集後に実際の工事見学を実施)>平成 30 年 1～2 月見学会を実施報告>イベント別途報告

4)消費生活展(平成 30 年 10 月)への参加(出展)>イベント報告別途

\*NPO 法人雨水市民の会(2 名の派遣協力)との連携による実施

①雨つぶぐるぐるすごろく体験会実施

②昨年度実施した市内公共雨水貯留設備調査の紹介

③環境市民会議活動の紹介(各部会資料配布)、環境政策課からのパネル(環境学習館紹介)の掲示

### ●住環境づくり：

小金井における環境配慮型住宅について：過去の市民会議での同住宅づくりの経緯とその後を知る

\*環境配慮型住宅推進ワーキンググループ設置(本サイト内コンテンツづくりと年内打合せ予定)

>ワーキンググループ情報へ

### ●小金井の住文化の発見：歴史文化発見

\*建設、建築関連の古老への聞き書きプロジェクト設計開始>ヒアリング準備・第二弾(3月)聞き書き実施：小嶋工務店(前原町)

\*聞き書き準備：長谷川敬アトリエ(桜町病院・聖ヨハネホスピス設計や環境共生型住宅設計)、市内在住の大工職人や建具職人など>実施は平成31年度予定。

### ●食環境づくり：活動立案

食育HP編集委員会との連携で「共食、供食、郷(土)食」の小金井での現状把握と共食環境づくりの支援(H29年度より3年計画)

\*市内におけるフードライブ活動調査：ごみ対策課や社会福祉協議会による貧困者支援活動と子ども食堂を含めて、情報収集を予定>社会福祉協議会ヒアリング予定、セカンドハーベストジャパンの活動情報収集(5-6月の説明会に訪問)

### ●地域コミュニティづくり：モデルエリア研究と試験的な基本設計実施>地域コミュニティづくりワーキンググループ設置

\*コミュニティづくり課題発見と解決への方向性部会内討議(4月)

\*公園コミュニティの基本試案づくり(環境政策課の公園係と連携して模索：(栗山公園モデルづくり)>第一期として、計画。

①現状調査、情報収集(歴史調査と植栽調査を開始。H29年度開始して、年度内も継続)>投稿欄にて、随時報告

②植栽、植木手入れの実施と公園利用者への参加打診予定(次年度実施)を計画、推進

③コミュニティ拠点づくりのための会合、セミナー会場検討：開始と方向性・交渉過程報告実施(部会公式サイト内)

### ●小金井市の施政を点検するワーキンググループ

平成30年度市議会、審議会学習：>30年度市議会では、一般質問で一部試験的に実施。投稿欄にて、報告>3、6、9月、12月議会一般質問での試行実施。審議会は、環境関連審議会(市民会議委員が関連団体委員として参加していない審議会)：環境審議会、地下水保全会議を主に、その他10審議会程度を実施。

1)市議会：事前資料掲示による動画併用傍聴(閲覧用資料提供協力を各市議に依頼)ページを部会公式サイト内に設置

2)審議会：傍聴後に資料提示をいただけない審議会は、資料の情報公開を依頼して、入手など。必要に応じて、部会公式サイトや運営会などで報告。

### ●第52回消費生活展：出展

日時：2018年10月15日

会場：上之原会館

内容：

①「雨つぶぐるぐるすごろく」体験会実施(NPO法人雨水市民の会より2名派遣受)

②昨年度実施した市内公共雨水貯留設備調査の紹介と雨水貯留設備なんでも相談会

③環境市民会議活動の紹介(各部会資料配布)、環境政策課からのパネル(環境学習館紹介)の掲示



雨つぶぐるぐるすごろく

参加者：40名程度(内訳：すごろく15名、相談会：6名、展示訪問：40名程度)、消費生活展会場全体では300名程度の動員

### ●雨水道路浸透柵工事見学会：2回

日時：2019年1月24日、2月14日

各見学1時間程度、その後栗山公園喫茶室にて説明会実施

会場：小金井市中町二丁目(栗山公園周辺)

内容：協力＞下水道課(2名同席して、解説受け)



① 第一回：浸透柵外枠設置工事：1月24日

② 第二回：浸透管深削工事：2月14日

内容；工事概要資料や設備資料を配布。ヘルメットを下水道課より借り受け、工事エリア内で見学、その後説明と質疑用の会合を栗山公園健康運動センター内の喫茶室にて、30分程度実施

●部会公式サイト内で実施報告を掲載。

参加者：①4名、②3名

見学目的：現在、毎年下水道課が市道で実施している雨水道路浸透柵工事とその設備構造を知り、その管理やメンテナンスについての近隣住民の知識を増やすとともに合流改善事業と地下水保全の両方の側面から、学ぶ機会づくりをする

第1回：浸透柵外枠工事（最初に浸透柵の外枠を設置）

第2回：深削工事（その設置後に柵の中心に縦穴を掘り、浸透管を設置する。実際には、その上部にフィルターが設置され、定期的な汚物などの清掃が必要なことがわかる）



### ●野川公園野鳥観察会：1回

日時：2019年1月12日

午前中に月例で実施されている野鳥観察会に同行して、見学2時間程度

会場：野川公園自然観察園内とその周辺

内容：野川公園野鳥の会に同行(同行して、解説受け)

内容と目的；動物との共生わーくんぐグループで市内各エリア、公園の野鳥の実態を把握して、市内での野鳥の生息、回遊などの実態を知ることによって鳩やカラス被害も含めた野鳥との共生環境を知る。

●部会公式サイト内で実施報告を掲載。

参加者：3名(観察会全体では、20名程度)

集合場所：野川公園自然観察センター(館内資料で季節の野鳥学習)

その後、自然観察園内を回遊

## ■はけの環境部会

2018年度活動報告

### ●第1回 ムジナ坂のおそうじ

日：2018年6月30日 土曜日

時：10時～11時

参加人数：7名（大人5名、子ども2名）



### ●第2回 ムジナ坂のおそうじ

日時：2019年12月9日 日曜日

時：10時～11時

参加人数：8名（大人6名、子ども2名）



### ●ムジナ坂の柵についての要望書を都に提出

「武蔵野公園ムジナ坂東側樹林地に設置予定の柵に関する要望書」を、東京都建設局西部公園緑地事務所（井の頭公園内）に持参し、担当者に要望を伝え、ムジナ坂の今後の環境について都の担当者と意見交換しました。

日：2018年11月8日 木曜日

時：14時～15時

参加者：小山美香、安田桂子、横須賀雪枝



## 各種審議会・協議会からの報告

### ■小金井市緑地対策審議会

平成 30 年度第一回審議会 平成 30 年 8 月 24 日

#### ●保全を図る緑地（環境緑地、公共緑地、保存樹木、保存生け垣）の指定について

##### ○保存樹木

- ・農工大が加わり、807 本  
緑の塊として考える時、基準に満たない樹木も加えたらどうか。  
基準値の変更も考えてはどうか。  
5 年毎の調査なので申請がない限り全体の詳細はわからない。

##### ○保存生け垣

- ・複数を合体した申請は無いが積極的に進めたい。
- ・ブロック塀や更地からの生け垣は該当要件だが補助金申請は無い。
- ・生け垣ではなく金柵のフェンスにしたいという問い合わせが多い。

#### ●公園等整備基本方針

- ・算定支援委託はランドブレイン
- ・211 箇所ある公園の約 100 箇所が提供公園
- ・そのため地域に偏在化が起り、低未利用公園の発生や維持管理費が課題となっている。  
このような状況を踏まえ、公園のあり方を再構築することを目的としている。
- ・人口、公園ともに増えているが一人あたり 6.46 平米で市条例の 10 平米に到達していない。
- ・公園面積は限界に近いので量より質への整理を進める。
- ・管理コストは 1 箇所 50 万程度、公園の数が増えるほど管理の質の低下は避けられない。
- ・ボランティアは市内 22 団体、約 200 名。
- ・ワークショップを計 3 回開く。
- \*一人あたりの公園面積は都立公園を含んでいるが、都のルールでそうになっている。  
それを踏まえて小金井の公園のあり方を考えたい。

平成 30 年度第二回審議会 平成 30 年 11 月 9 日

#### ●公園の現状と課題及び整備の方向

- ・前回の数値（一人あたりの公園面積）に大学、寺社等を含めると 13.29 平米になる。
- ・約 30%の公園利用者数が 5 人未満。
- ・一日の利用者数を利用圏総人口で割った値は 65%が 1%以下。
- ・密集地域と空白地域がある。
- ・上位計画である緑のネットワークとの整合性も偏りがある。
- ・ワークショップの結果  
武蔵小金井地域→自然を活かした多世代が楽しめる公園  
東小金井地域→公園を応援する方法、仕組みのある公園  
野川地域→世代を超えてみんなで使い方を決められる公園
- ・管理の行き届いていない公園や未利用公園が多い。
- ・ボランティア団体との連携が必要。
- ・人口減少、税収減少を見据えて量より質を考える。
- ・Park-PFI の導入も考えている。
- \*すべての計画をすぐに実行するのは無理なので重点的にいくつかの具体案を作り  
モデルケースとして進める。
- \*どこの家庭も庭は自己管理なので中高マンションの緑地は管理組合に任せられないか。
- \*生産緑地法の期限が迫り農地の減少が問題になるが課をまたいだ政策が必要。

平成 30 年度第三回審議会 平成 31 年 1 月 30 日

●公園等整備基本方針(案)について

○公園緑地の ABC 評価

- ・ A→重要な公園
- ・ B→地域に必要な公園
- ・ C→現状維持を図る公園
- ・ D→活用効率が悪く財政状況などから土地変換を含めた有効活用の検討

\*D 評価が問題。施錠してあるだけで貴重な緑が低評価になる。数字だけの評価で良いのか。  
例→白檜緑地、亀久保緑地等

○推進方針

・基本理念は”質の高い”公園作づくり

1. 地域資源の活用、他分野との連携による多面的利用
2. 人口減少を見据えた適正な配置
3. 未利用公園緑地の解消
4. 公民共同や地域主体による維持管理

\*整備をすると緑被率が少なくなるか。

\*指定管理制度に関してはもっとはっきりとした説明に。

\*西東京市のエリアとしての指定管理等を参考にもっとアイデアを出してほしい。

\*パブコメにはもっと図を多用してイメージをはっきりさせたほうが良い。

注：議事録の詳細は市の公式 WEB に載っている。

(串田光弘)

## ■ごみゼロ化推進会議

ごみゼロ化推進会議は、ごみ対策課と連携し、まちの美化活動、事業所や市民へのごみ減量の啓発活動に取り組んでいます。3 部会（事業所部会、まち美化部会、啓発部会）で構成され、推進員はいずれかの部会に所属し、「ごみの相談員」としても地域市民の困りごとなどをごみ対策課につなぐ市民協働の役割を担っています。

・主な活動

①夏休み生ごみ投入事業は市内小中学校 8 校で実施されました。今年は投入量や参加人数が過去最低となり、ボランティアの減少などが課題となっています。

②啓発部会では 9 月 28 日にごみ対策課の職員との意見交換会を開催しました。内容は「不法投棄」「ふれあい収集」「乾燥物戸別回収」などについて。職員が働く現場の状況などを聞きながら、市民が果たすべき役割などについても提案が出されました。ともに連携しておこなうことの大切さを痛感しました。

③11 月 29 日に、比留間運送(株)伊奈平工場（産業廃棄物処理や生ごみ堆肥化装置など）と入間工場（建築廃棄物と生ごみ等から人工軽量土壌製造など）を見学しました。

④啓発部会ではごみ減量の啓発を目的に、町会、自治会などに呼びかけ、ごみ対策課と連携して 2019 年度にごみ分別やごみの行方について説明会を開くこととし、質問づくりをワークショップ形式で行い、説明資料を作成しました。

⑤3 月上旬、2 日にわたり、第二庁舎、市民課の窓口周辺で、転入者を対象にごみ分別のチラシを配布しました。

⑥3 月 16 日「海ごみを知っていますか」と題して、海洋マイクロプラスチックをテーマに、

東京農工大学教授 高田秀重さんをお招きして講演会を開催しました。海に流れたプラスチックが微小化し、海鳥や魚が摂食、海が汚染している現状と対策について学びました。  
(杉本早苗)

## ■小金井市消費者団体連絡協議会（消団連）

小金井市消費者団体連絡協議会参加団体

おもちゃの病院、医療生協、食器リサイクル、こがねい・パル、小金井市環境市民会議  
上記、五団体 事務局：小金井市経済課 消費生活係

- ・毎月 第二木曜日 代表委員会 2018年4月から2019年3月（全12回）
- ・毎月 第三木曜日（8月はお休み）リサイクルバザー、おもちゃの病院、食器リサイクル（リユースを目的として、10月より開催）
- ・2018年10月27日（土）第52回消費生活展に参加
- ・2018年11月14日（水）内部学習として小金井市ごみ対策課のフードドライブ見学
- ・2019年1月31日（木）消団連主催 消費者講座「子どものおやつに何を与える？ 栄養成分や添加物で注意すること」講師 垣田 達也氏
- ・2019年3月16日（土）第26回TAMAとことん討論会に参加  
場所：聖蹟桜ヶ丘 アウラホール
- ・2019年3月21日（木）消費者ルームまつり 消費者講座 「大災害に備えて～いま、できること～」講師 小金井消防署員



食器リサイクル



フードドライブ回収



消費者講座

(柏原 君枝)

## ■第 26 回玉川上水の保全事業・区市連絡協議会

2018 年 12 月 19 日（水曜） 14：00～16：20

小金井関連参加団体：小金井市環境市民会議、名勝小金井桜の会、小金井公園桜守の会、小金井市役所生涯学習課、環境政策課

議事進行：

### 1 開会

会議前に住民団体からあった連絡事項についての一覧(資料 1)の説明で、それぞれについての回答は、以下の進行中にどの部分で回答していくかの説明がありました。以下の報告後に関連する質問、回答が提示されました。

### 2 都からの報告について

#### (1) 水道局の管理計画と建設局の緑道管理<小金井に関連する上中流域について抜粋>

上流部から、中流部の上水端の樹木、雑草などの植栽の管理作業と史跡としての玉川上水についての整備(説明看板など)作業についての説明(資料 2, 3)

<質問と要望>；上中流域で水草の繁茂状況が見られ、改善されていない点は、前年同様で確実な調査、管理が要望された。多様性を考慮した樹木伐採がなされていない点についての質問については、台風被害などを考慮した伐採となっているという水道局からの説明。樹木や雑草の整備は、「計画について説明会後に協議・調整が済んだ地域から整備を実施」とあるが、実際に説明会後に各地域で協議・調整がなされていない点を市民会議より指摘したところ、実際には協議・調整はしていないのでそうした表現は報告より削除することを東京都側が回答。さらに植物の多様性を重んじた刈り取りなどの実施についても「専門家の意見を聞いて実施しているとの報告」に実際の事例提示と今後の実施徹底を建設局の緑地管理に要望。

#### (2) 教育庁

ヤマザクラの補植についての報告

<質問と要望>

補植の今後(平成 32 年以降)の計画が明らかになっていない。他市の部分での計画の速やかな推進が求められました、さらに補植や樹木伐採後の下草などを含めた管理計画が進められていないために伐採した部分などにひこばえなどが見られる、雑草が繁茂している点を指摘され、より計画的な植栽保全・管理の必要性が求められた。

名勝小金井桜の会から水道局に提案された「水を抜いてのかいぼり」は、難しいとの指摘があったが、一応検討するとの回答。

### 3 区市からの報告

\*小平市：玉川上水に架橋した百石橋の法面の状況についての報告

### 4 住民団体の取り組み発表

- (1) 玉川上水ネット「市民が選ぶ玉川上水と分水網の関連遺構 100 選」の取り組み紹介
- (2) 玉川上水・すぎなみの会：植物調査や保全活動についての事例報告
- (3) 玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会：玉川上水を知る～連続講座の開催～を紹介

(高坂)

## 協力活動の報告

### ■こがねい環境フォーラム 2018『めぐる・ひろがる・未来につなげる』

日時：2018年12月1日(土)～2日(日)

会場：小金井市環境楽習館・公民館緑分館・宮地楽器ホール・東京学芸大学環境教育研究センター

参加者数：440名(各会場合計)

主催：小金井市

企画：NPO こがねい環境ネットワーク

協力：・小金井市環境市民会議

- ・公益財団法人トトロのふるさと基金
- ・NPO 緑のダム北相模
- ・東京学芸大学附属小金井中学校
- ・東京学芸大学環境教育研究センター
- ・ほか



### 1. 展示協力

会場：宮地楽器ホール・マルチパーパススペース B

内容：環境フォーラムの会期中、環境市民会議および市内の環境系市民団体や中高生による森林保全活動の展示のほか、12/2に開催した講座「マイクロプラスチックってなに？～海へつながる私たちの暮らし」に向けて、海のごみの実物展示の協力を行った。



展示コーナー 1



展示コーナー 2

### 2. 講座の企画協力

「マイクロプラスチックってなに？～海へつながる私たちの暮らし」

日時：2018年12月2日(日) 13:30～15:30

会場：東京学芸大学環境教育研究センター 多目的室

内容：一般社団法人 JEAN の小島あずささん、吉野美子さんを講師にお迎えし、暮らしに深く浸透したプラスチックが細かいごみとなって川から海へと漂うなかで何が起こる危険性があるのかお話いただいた。後半は2グループに分かれてワークショップを行った。

「地球温暖化講演会」

日時：2018年12月2日(日) 19:00～20:30

会場：宮地楽器ホール 第二・第三練習室

※詳細はP6 エネルギー部会活動報告へ



講座「マイクロプラスチックってなに？」

## ■第 16 回玉川上水小金井桜落葉回収作戦 参加報告

2018 年 11 月 24 日（土曜） 9：00～11：00

小金井市環境市民会議からの参加：1 名

作業進行：

### 1 準備

事前に実行委員会の出席できなかつたためと毎回開催直前まで ML での確認で参加人数の確定ができないため、担当(高坂)が個別に事務局と実施の事前打ち合わせをし、小金井市環境市民会議は対象区画を決めず、当日対応とすることを決定し、朝のさくら公園集合時に名簿提出となった。

### 2 実施

9 時：開会式時点での会場(緑町さくら公園)で参加点呼し、1 名参加のみとなり、他の団体と合流して第 4 エリアを担当。

以下、実施写真で作業詳細を報告。さらに参加した個人により生活環境部会の公式サイトに実施報告を掲載しました。

当日参加団体数：20 団体以上、200 名を越える参加規模。



開会式



名勝小金井桜の代表や市長が挨拶



用具も一式準備され、開始を待つ市民

## プロジェクト活動の報告

### 武蔵小金井駅南口第二地区第一種市街地再開発事業地区への 雨水浸透に関する市長への提言プロジェクト報告（概要）について

提言プロジェクトチーム

はじめに

2018年（平成30年）2月13日の第9回運営会で、武蔵小金井駅南口第二地区市街地再開発事業地区内（以下「第二地区」という。）の雨水浸透問題について、環境市民会議として市長に提言を行うためにプロジェクトチーム（以下「提言PT」という。）を発足させることを決定しました。

チームメンバーを環境市民会議メーリングリストで募り、高坂、坂井、内田で3月に発足。

以降、関連資料の収集、行政へのヒアリング、条例設置の地下水保全会議の傍聴などを行い、二地区の雨水浸透問題について検討を進めて、2019年（平成31年）2月4日にプロジェクト報告を提出しました。

#### 1. 第二地区再開発事業の概要について

2012年（平成24年）4月に武蔵小金井駅南口の地権者による組合施行方式で、約1.4ヘクタールの区域のうち約9,800

m<sup>2</sup>を建築面積にあて（建ぺい率80%）、地上26階（高さ約

100m、容積率512%）、地下2階の高層マンション2棟及び

低層部4階までは商業施設等を建設。

住宅戸数は720戸、地下1階駐車場は約460台、地下2階は機械室及び雨水貯留槽を整備。

工事着工は2017年（平成29年）2月、工事完了は2020年（平成32年）5月予定。

< 完成予想図 >



#### 2 提言PT報告の概要

##### 2-1. 第二地区の雨水浸透対策に問題あるため再考を求める

雨水の地下浸透及び雨水の積極的な利用は、「地下水及び湧水を保全する条例」に基づく市の基本方針です。そのなかで地下水涵養については小金井市環境基本計画で、地下水・湧水の保全のために雨水浸透施設を設置して雨水をできるだけ地下に浸透させることを進めています。

近年、駅周辺の大型開発に伴い高層階の建物が増えています。高層階の場合は、敷地に降った雨より建物壁面に降った雨のほうが圧倒的に多いボリュームになり、この降雨雨水の処理・活用が新たな課題になっています。

現在建設中の第二地区の雨水浸透対策については、高層建物の降雨雨水が一部中水利用を除いて下水道に排水される計画になっているため、地下水の涵養や水循環の回復に寄与せず問題ありと言わざるを得ません。よって環境市民会議として市長に対して意見書を提出することを求めます※

※環境基本条例第27条2項 環境市民会議は、環境の保全等に関する施策等について、市長に意見を述べることができる。

##### 2-2 市長への意見書の内容

第二地区については、高層建物に降った雨水の処理用として地下に400トンと2,400トンの雨水貯留槽を設けています。400トンの貯留槽に流入する雨水は、低層階の商業施設のトイレの洗浄水や植栽の水遣り用の中水に使用するが、2,400トンの貯留槽に入る雨水は下水道に排水する計画になっています。

再開発組合（事業者）は貯留雨水の地下浸透が出来ない理由として、費用がかかることと敷地いっぱいに地下駐車場などの構造物を整備するため、雨水を浸透させるような空地がないことをあげています。

いっぽうすでに2011年（平成23年）に完成した宮地楽器ホールやイトーヨーカドーが立地する武蔵小金井駅南口の第一地区再開発事業では、環境に配慮した計画として雨水を出来るか

ぎり地面に浸透させ自然に戻しています。第二地区は第一地区と建ぺい率、容積率が同じです。第一地区で出来たことがなぜ第二地区で出来ないのか不思議でなりません。

地下水保全会議の委員からも繰り返し下水排水はもったいない、地下浸透できないかとの発言が会議録に残されています。

すでに2020年（平成32年）5月の竣工予定までに3分の2近くの工事期間が過ぎたいま、工事内容の変更は難しいかも知れません。しかし問うべきことは問い、言うべきことは言わなければ、今後の再開発事業やマンション等大規模施設建設の前例になってしまいます。

市は再開発組合に以下の行政指導を行うよう求めます。

- (1) 第二地区再開発事業地内の降雨雨水の水循環を徹底化すること

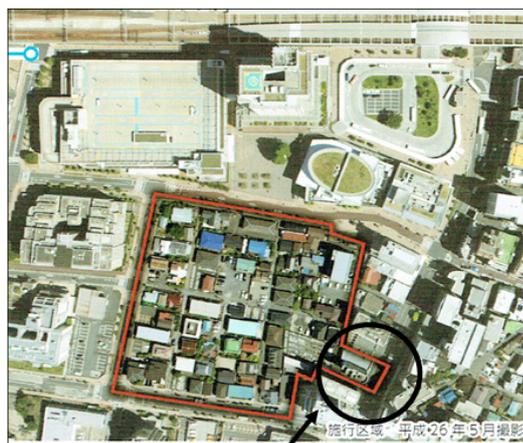
高層建物へ降った雨水の下水道排水を見直して、降雨雨水の商業施設等の中水利用の徹底又は地下浸透施設による地下浸透で水循環の推進を図ること。

- (2) 具体的な地下浸透施設の設置場所について

地下浸透施設の整備については、地下に構造物がない二期工事地区の区画道路6号及び広場等を候補地として検討すること。※

※広場の地下には40トンの防火水槽の整備計画があるが、なお地下浸透施設整備の余地を見込む。広場と区画道路6号は再開発組合から権利変換されて小金井市の所有になっている。防火水槽と道路整備は再開発組合が整備して、その後の維持管理は市が行うとしている。

<二期工事地区>



区画道路6号地区（2017.08作成の再開発組合発行資料から）

## 2-3 今後の課題について

少なくとも「コスト的に難しい」という理由で雨水浸透対策が不作為のままで許されていいはずがない。よって大規模開発に見合った地下浸透対策の行政指導の強化策として、小金井市では雨水の下水道排水の課金問題や「地下水及び湧水を保全する条例」の地下水保全会議の役割強化の見直し（第8条関係）や開発業者の提出書類の見直し（第13条関係）、宅地開発指導要綱などの見直しが求められる。

なおこれらの課題を検討するためには、第二期プロジェクト等の立ち上げが望まれる。今後の環境市民会議での検討に委ねたい。

## 資料（環境市民会議から提出した要望書・意見書）

2018年11月8日

東京都建設局西部公園緑地事務所長 様

小金井市環境市民会議  
代表 小山美香

### 武蔵野公園ムジナ坂東側樹林地に設置予定の柵に関する要望書

日頃より武蔵野公園の環境整備にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

この度、貴所がムジナ坂東側の樹林地に高さ180cm程度の金属製のフェンスを近々設置予定であることを聞きました。不法投棄や不法侵入を防止するためとのことですが、そのような高さの金属製フェンスの設置は、ムジナ坂の景観を大きく損なう上に、付近で生息が確認されているタヌキや都内では稀少なムジナ（ニホンアナグマ）等の動物の移動の妨げになることが懸念されます。

国分寺崖線は東京都の景観基本軸の一つに指定されており、『小金井市都市計画マスタープラン』においても「国分寺崖線(はけ)の坂道は、人にやさしく個性ある坂道づくりを進めます」「武蔵野公園内へつながる暗く狭い坂や階段は、国分寺崖線(はけ)と調和した環境整備を進めます」「国分寺崖線(はけ)の坂道は、地域固有の魅力的な景観要素になるように、歩行者系道路として演出した整備を進めます」とされています。

また、『東京都環境基本計画』にある政策3の「自然豊かで多様な生きものと共生できる都市環境の継承」では、目標の一つに「生物多様性に配慮した緑化を推進し、生きものの生息空間を拡大する」が挙げられ、『小金井市環境基本計画』においても「多様な生物と共生できる自然環境を保全・回復・再生する」ことが重点的取組の一つにうたわれていることから、本件は小金井市行政ならびに小金井市民全体で考えなければいけない問題だと認識しています。

上記を踏まえ、当会議としては、景観と生態系に配慮し、生け垣や竹等の自然素材による下部に動物が通れる隙間がある柵の設置を要望します。なお、必要があれば、市民による具体的な柵のデザインやその設置、維持管理、周辺の清掃等についても検討させていただきますので、今後ご相談頂けたら幸いです。

ご検討の程、何卒よろしくお願いたします。

以上。

2019年2月19日

小金井市長 西岡真一郎 様

小金井市環境市民会議  
代表 小山美香

## 新庁舎・新福祉会館に関する「意見」

小金井市の新庁舎・新福祉会館の基本設計にあたり、小金井市環境市民会議は小金井市環境基本条例第27条に基づいて、下記の9項目の要望を含む「意見」をお伝えします。

また、私たちの「意見」がどのように基本設計の策定過程で反映されているかを、適切な時期にご説明をお願いしたいと存じます。

### 〈水と緑の小金井に相応しい新庁舎・新福祉会館〉を

◆近年、小金井市内の緑被率が低下している現状を踏まえ、ソフト、ハード両面で「水と緑の小金井」を象徴するような市庁舎・新福祉会館にしてください。

具体的には、

- (1) 敷地内には可能な限り芝生、樹木、屋上緑化、花壇を配置する。
- (2) 市庁舎エリア内の緑は、玉川上水・小金井公園から野川・武蔵野公園へと連なる生物（鳥、昆虫など）の移動を助ける「緑の飛び石」の役割を果たすようにする。

◆2008年に開催されたイベント「雨を活かすまちづくり 50年の継承」の八市市長サミット宣言や「小金井市の地下水及び湧水を保全する条例」を実現し、雨水活用のための貯留と浸透への機能を強化してください。

具体的には、

- (3) 屋上や屋根及び壁面に降った雨は貯留または浸透させる。雨水は下水道に流さず100%活用（浸透・貯留・利活用）する。
- (4) 井戸水位ディスプレイを設置してリアルタイム表示で地下水位が見える化し、“水と緑の小金井市”をPRすると同時に市民や職員への“水の大切さ”の啓発を進める。
- (5) 「地下水保全会議」で出された意見を十分活用した上で、水循環に配慮した業者を選択し指導する。

## 〈地球温暖化対策と持続可能な社会づくりに向けた新庁舎・新福祉会館〉を

小金井市は、「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を定め、「小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）」をたてるなど施策を進めてきました。しかし、CO2排出量は削減どころか増大しており、こうした現状を改善するために、他の自治体の先進的事例をも十分反映してください。

また、小金井市の重要な財産である「環境楽習館」の建設で示された理念、手法を活かし、新しい市庁舎と福祉会館が次世代に引き継がれるべき環境配慮型庁舎となるようにすべきです。

例えば、

- (6) 建築物の「環境品質」と「環境負荷」を同時に評価する「建築環境総合性能評価システム」(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency=CASBEE、キャスビー)において、長寿命でライフサイクルを通じてCO2排出量を少なくするために最高ランクの「S」を取得する。
- (7) エネルギー消費量の大幅な削減目標を定める。
- (8) 調達する電力については自然エネルギー100%を目指す。

## 〈水と緑を活かした防災拠点としての新庁舎・新福祉会館〉を

首都直下型地震がいつ起きても不思議ではありません。新庁舎・新福祉会館は、まさに防災拠点として重要です。その観点からも「水と緑」を活かす必要があります。

例えば、

- (9) 防災利用可能な雨水貯留設備(消火、緊急時の生活水他)や手押しポンプ式井戸などを設けて市民がいつでも活用できるようにし、飲用水用深井戸の給水拠点と合わせて水の供給拠点となるようにする。

最後に、

環境市民会議は小金井市環境基本条例に基づき、小金井の環境を守り続ける市民の代弁者としての責任を持って活動をしています。

この条例の理念が確実に生かされること願い意見を述べさせて頂きました。ご検討のほどよろしくお願いたします。

以上。

## 総会・定例会・運営会

### 平成 30 年度総会

日時 2018 年 6 月 4 日（月） 18：30～20：30

場所 小金井市役所第 2 庁舎 801 会議室

出席者 会員 19 名（委任状 11 名） 市役所 4 名

#### 第 1 部

- 1、平成 29 年度活動報告・決算報告・会計監査報告…全員一致で承認
- 2、平成 30 年度役員選出…代表・副代表・会計・監査の役員を選任
- 3、平成 30 年度活動計画・各部会活動計画・予算案…全員一致で承認

第 2 部…「これからの環境市民会議～活動と協働～」についてフリーディスカッション

### 第 1 回定例会

日時 2018 年 4 月 23 日（月） 18：30～20：55

場所 小金井市役所第 2 庁舎 801 会議室

出席者 会員 8 名 市役所 3 名

#### 議事内容

1. 各部会、各種審議会からの報告
2. 南口再開発にかかる市長への提言 PJ,HP の再構築について
3. 環境市民会議活性化に向けて PJ の立ち上げについて

### 第 2 回定例会

日時 2018 年 10 月 22 日（月） 18：00～20：30

場所 小金井市役所第 2 庁舎 801 会議室

出席者 会員 12 名 市役所 3 名

#### 議事内容

1. 各部会からの報告
2. ムジナ坂に関する要望書提出について承認
3. 環境市民会議活性化ワークショップ

### 第 1 回運営会

日時 2018 年 5 月 17 日（木） 10：00～12：00 場所 前原暫定施設 会議室

出席者 会員 9 名 市役所 2 名

#### 議事内容

1. 活動報告……各部会、審議会等から
2. 協議事項……2018 年度の活動計画について。

### 第 2 回運営会

日時 2018 年 7 月 4 日（水） 10：00～12：00 場所 本町暫定施設 第 1 会議室

出席者 会員 10 名 市役所 2 名

#### 議事内容

1. 活動報告……運営委員メンバーと月 1 回の開催の確認、各部会、環境政策課から
2. 協議事項……各 PJ（南口第 2 地区再開発、藤原 PJ）。講座の開催（マイクロプラス

ティック問題) について

#### 第3回運営会

日時 2018年8月1日(水) 10:00~12:00 場所 本町暫定施設 第3会議室

出席者 会員11名 市役所2名

議事内容

1. 活動報告……各部会、審議会、消費者団体連絡協議会から  
環境政策課から地下水保全会議の報告——第2地区再開発の地下水位観測井戸は小金井市は竣工後引継がない。工事による地下水の明らかな変動は現在まで確認されていない。  
環境市民会議が行ってきた調査井戸を10か所程度に絞って市が継続する。選定井戸については協議する  
NPO こがねい環境ネットワークから——楽習館は30℃以上の日は休館になる
2. 協議事項……はげのムジナ坂に侵入・不法投棄防止のため設置予定のフェンスに関する要望書を都に出すことを了承。

#### 第4回運営会

日時 2018年9月4日(火) 10:00~12:00 場所 前原暫定集会施設 A会議室

出席者 会員13名 市役所2名

議事内容

- 1.活動報告……各部会、審議会、NPO こがねい環境ネットワークから、環境フォーラムを12月1~2日に開催予定
2. 協議事項……ムジナ坂のフェンス設置に関する要望書を修正し、9月には都に提出する。

#### 第5回運営会

日時 2018年9月27日(木) 14:00~16:00 場所 本町暫定施設 第2会議室

出席者 会員10名 市役所1名

議事内容

1. 活動報告……各部会、審議会、NPO こがねい環境ネットワークから、
2. 協議事項……ムジナ坂のフェンスに関する要望書を確定。
3. 藤原PJについて10月の定例会でワークショップ形式で議論する

#### 第6回運営会

日時 2018年11月13日(火) 10:00~12:00 場所 前原暫定集会施設 会議室(1F)

出席者 会員8名 市役所1名

議事内容

1. 活動報告……各部会、審議会から、NPO こがねい環境ネットワークから「環境フォーラムの進捗状況について」
2. ムジナ坂に関する要望書を都に提出した。

#### 第7回運営会

日時 2018年12月11日(火) 10:00~12:00 場所 本町暫定施設 第3会議室(2F)

出席者 会員9名 市役所1名

議事内容

1. 活動報告……各部会、審議会、NPO こがねい環境ネットワークから
2. 協議事項……新庁舎建設について環境配慮について提言したいので今後検討する。

#### 第8回運営会

日時 2019年1月11日(金) 10:00~12:00 場所 本町暫定施設 第2会議室(2F)

出席者 会員12名 市役所1名

##### 議事内容

1. 協議事項……新庁舎・福祉会館建設について。藤原PJについて。HPについて。

#### 第9回運営会

日時 2019年2月5日(火) 14:00~16:00 場所 前原暫定集会施設 会議室(1F)

出席者 会員11名 市役所1名

##### 議事内容

##### 1. 協議事項

- ・新庁舎・福祉会館建設についての意見を協議・早急に成案をつくる。
- ・HPについて……JIMDOの無料ドメインで新公式サイトを作成。3月に正式公開予定。
- ・藤原PJについて……行政・NPO・市民会議の三者協働のあり方について等を検討する。

#### 第10回運営会

日時 2019年3月7日(木) 14:00~16:00 場所 本町暫定施設 第1会議室

出席者 会員9名 市役所1名

##### 議事内容

##### 1. 協議事項

- ・今年度事業報告、新年度事業計画・総会準備について
- ・武蔵小金井駅南口第二地区再開発事業地区への雨水浸透に関するPJ報告について
- ・藤原PJの進捗状況について

##### 2. 報告事項……各部会、HP進捗について

小金井市環境市民会議の日々の活動は下記のホームページで報告しています

URL : <http://www.koganei-kankyo.org>

---

## 2018 年度環境保全に関する啓発活動報告書

---

発行日：2019 年 5 月 20 日  
発行：小金井市環境市民会議  
URL：<http://www.koganei-kankyo.org>

問合せ先：小金井市環境部環境政策課  
TEL：042-387-9817